

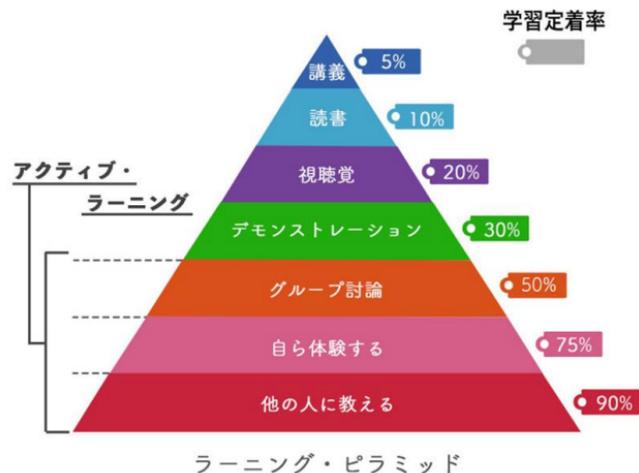
中学用技術仕様：ACTの成績が伸びる3つの理由

成績が伸びる理由を3つのポイントで徹底解説！



【理由1】学んだ知識を定着させるカギ、それはアウトプット！

人に教えることで、勉強は『わかったつもり』から『本当にわかる』に変わります。



ラーニングピラミッドは、エドガー・デールが提唱した学習法ごとの定着率を示す図です。

アウトプットの重要性

学んだことを自分のものにするには、「アウトプット」が欠かせません。

人に教えたり、説明したりする過程で知識が整理され、記憶に定着します。また、相手から質問を受けることで、自分が理解できていない部分にも気づくことができます。

ACTのサポート

- ・理解を深める学び：勉強した内容を講師に説明することで、本当の理解を確認します。
- ・復習の徹底：アウトプットを繰り返すことで、テストや受験に自信を持てるよう指導します。

【理由2】：間違いを学びに変える力！

間違いを振り返ることで、自分の勉強の課題に気づき、次に活かす力が育ちます。

間違いを学びに変える重要性

間違えた理由を振り返ることは、自分の勉強の悪さを発見し、改善につなげるために欠かせません。

原因を知る：「どこで間違えたか」「なぜ間違えたか」を分析します。
行動を変える：悪さを理解した上で、次にどう取り組むべきかを明確にします。

ACTのサポート

間違いの分析：講師と一緒に原因を特定します。
改善へのフォロー：個別に改善ポイントを提案し、習得をサポートします。

「進学塾に通わせても、成績が伸びないのはなぜ？」

中学2年生のBくんは、他の進学塾に通っていました。ところが、「全教科が、半分にも満たない点数だったんです」と眉を落としてやって来たのです。
私はBくんに、これまでの勉強のやり方について話を聞いてみました。
どうやら定期試験の対策としては、講師に言われたとおり、教科書準拠の問題集をやり、過去問題を最後の仕上げに解いていたそうです。しかし、十分な時間をかけて勉強したにもかかわらず、結果は散々。

「どんな感じで解いたの？」と尋ねると、「とにかく問題を解いて、採点しました」と言います。他校で使っていた教材を確かめると、内容はきちんとしたものでしたが、ただひたすら問題を解いて自分で採点するだけです。

そこに問題点があると思った私は、Bくんに新しい勉強方法を勧めました。

「答えは教材に直接書き込むのでなく、別のノートに余白を残して書く。採点は必ず赤ペンで行う。間違えた問題は、ミス原因・正解できた理由を余白にまとめ。同じ問題を満点になるまで繰り返す」というやり方です。

問題を解いた後、採点だけして終わるのではなく、間違えた問題については、なぜ間違ったのかを自分で考え、原因を書きだしてみる。正解できたら、なぜ正解できたかをもう一度見直し、言葉にして書く。

この一連のプロセスは、Bくんにとってもまったく初めてのやり方だったようで、はじめの頃は、時折みげんにしわを寄せ、慣れない様子でした。

しかし、しばらく経つと、

「あと3点で満点、次は100点を取るぞ！」

「ついにパーフェクト達成！」

というコメントをノートの余白に書き込み、楽しそうに勉強するようになりました。

まさしく、Bくんの「忍耐力」が伸びてきた証拠です。

豊嶋和弘さん著書

『教えない『塾』なのに成績が上がる』より抜粋

【理由3】カクテルパーティー効果とACTのマンツーマン指導

カクテルパーティー効果とは、繰り返し聞いたり説明された情報を、脳が『重要なもの』と判断し、記憶に残りやすくなる現象のことです。例えば、数学の公式や解法を繰り返し練習することで、自然と身につけ、応用できる力が育ちます。

カクテルパーティー効果とマンツーマン指導

繰り返し学ぶことで記憶に定着

同じ内容を繰り返し学ぶことで、脳が「重要な情報」と判断し、記憶に残りやすくなります。

個別対応で確実に理解

生徒が理解するまで繰り返し学ぶことで、学びのムラがなくなり、確実に定着。自分のペースで学べるため、効率的に成績が向上します。

ACTのマンツーマン指導の強み

一人ひとりに集中

講師が生徒一人に集中するため、不明点をその場で解決でき、手が止まらずに短時間で進めることができます。

学びを定着させるサポート

繰り返しのアウトプットを通じて、生徒が理解した内容を確実に記憶に残します。